

まちづくりコンセプトブック

WONDERFUL WOODS



中津川市

WONDERFUL WOODS

——ワクワクする森 なかつがわ

中津川市が誇る豊かな森林(WOODs)そのものや、その歴史文化を表すとともに、そこから生まれる良質な資源、それらを素材としたさまざまな産業の可能性。木々の癒しや安らぎ、大自然をフィールドとした遊びや楽しみ、魅力的なイベントなどリニア中央新幹線を降りたら目の前にいろいろな驚き・不思議(WONDER)がぎゅっ詰まったワクワクする空間が広がる。それが、中津川市のまちづくりコンセプト“WONDERFUL WOODs”です。



まちづくりの方針

中津川市は、面積の8割が森林であり、その森の恵みを受け、伊勢神宮の御用材として納められているような優れた木材や良質な農畜産物を産出しています。また、古くから街道が通り、商業の発展とともに、この地域ならではの歴史文化が生まれ、近代以降は、交通インフラの整備とともに「ものづくり」のまちとしてさらに発展してきました。将来、リニア中央新幹線が開業することにより、リニアの駅や総合車両基地ができる中津川市は、大都市圏と直結し、国内だけでなく海外の各地と短時間で行き来できるようになります。これにより、ビジネス・観光にとどまらず、二地域居住などのさまざまな可能性が生まれ、私たちの暮らしが大きく変化していきます。

中津川市がこれまで守り育ててきた魅力を生かしながら、未来に向かって、より魅力ある暮らし方や働き方、遊び方を生み出し、つなぎ、ここに住む人や訪れる人など、中津川市に関わるすべての人が笑顔になり、ワクワクを感じられるまちづくりを進めます。

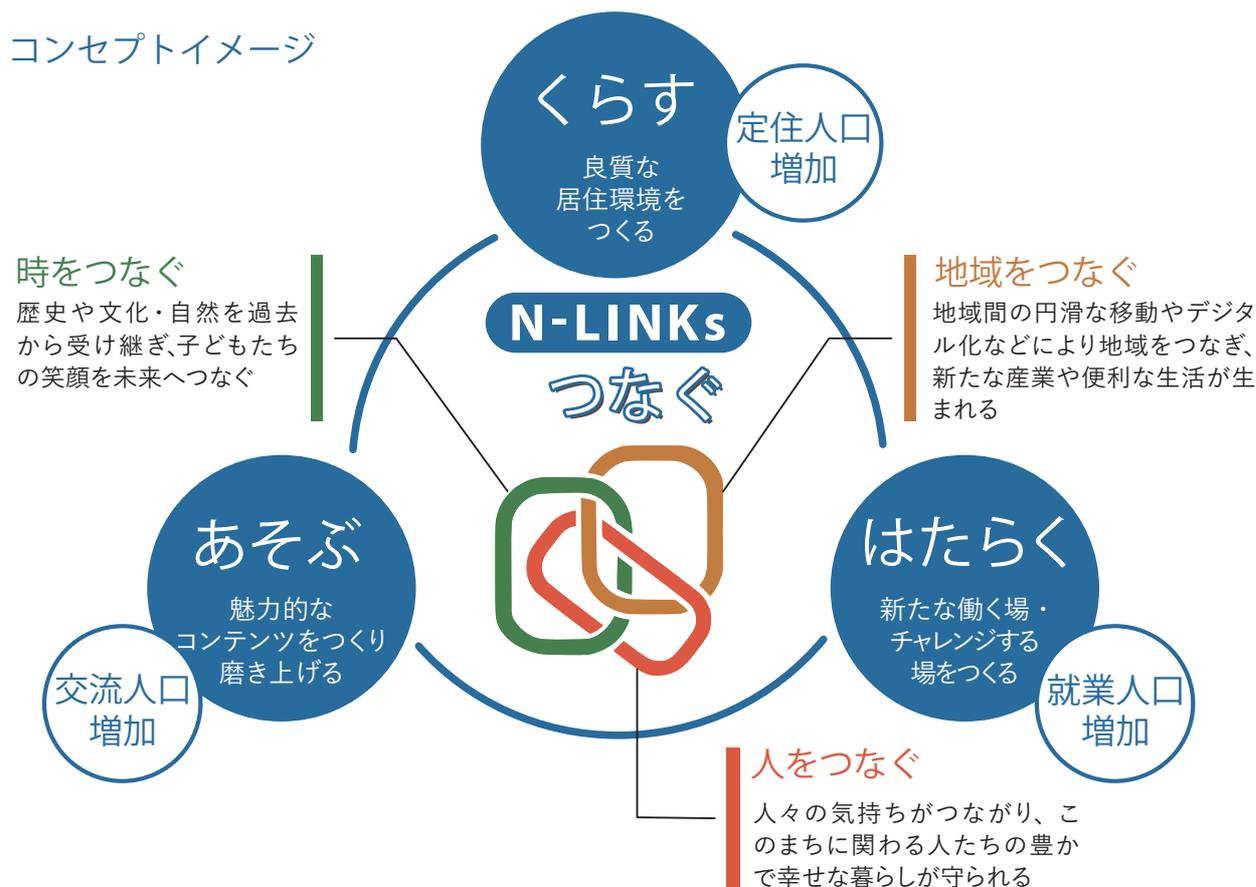
リニアと豊かな森が
もたらす二地域居住



“WOODs”をいかしたまちづくりを進めることで、このまちに暮らす人、観光や仕事で訪れる人など、さまざまな人口の増加につなげ、その先にある人々の幸せの実現を目指します。

“WONDERFUL WOODs”の中心には、「くらす」・「あそぶ」・「はたらく」をつなぐ“N-LINKs”という考え方を位置づけ、地域・時・人をつないだワクワクするまちづくりを推進します。

コンセプトイメージ



品川まで約60分
名古屋まで約15分



WONDERFUL WOODsなまちの未来

くらす



- スマートハウスや次世代モビリティなど新たな技術の利活用により、自然と共存した住環境の中でも便利で快適に暮らすことができます。(※1)
- 自動運転など、これまでになかった移動手段による送迎などを活用し、中山間地域であっても外出や移動が容易になります。(※2)
- 世界中とオンラインでつながる生活により、自宅にしながら買い物や医療など利便性の高い生活をする事ができます。(※3)
- リニアにより大都市圏と短時間でつながる利点を生かし、二地域居住などの新たな生活スタイルを実現するとともに、大学や国の機関などが設置されています。(※4)
- 体験型観光や田舎暮らし体験などから新たな交流が生まれ、移住へとつながります。(※5)

はたらく



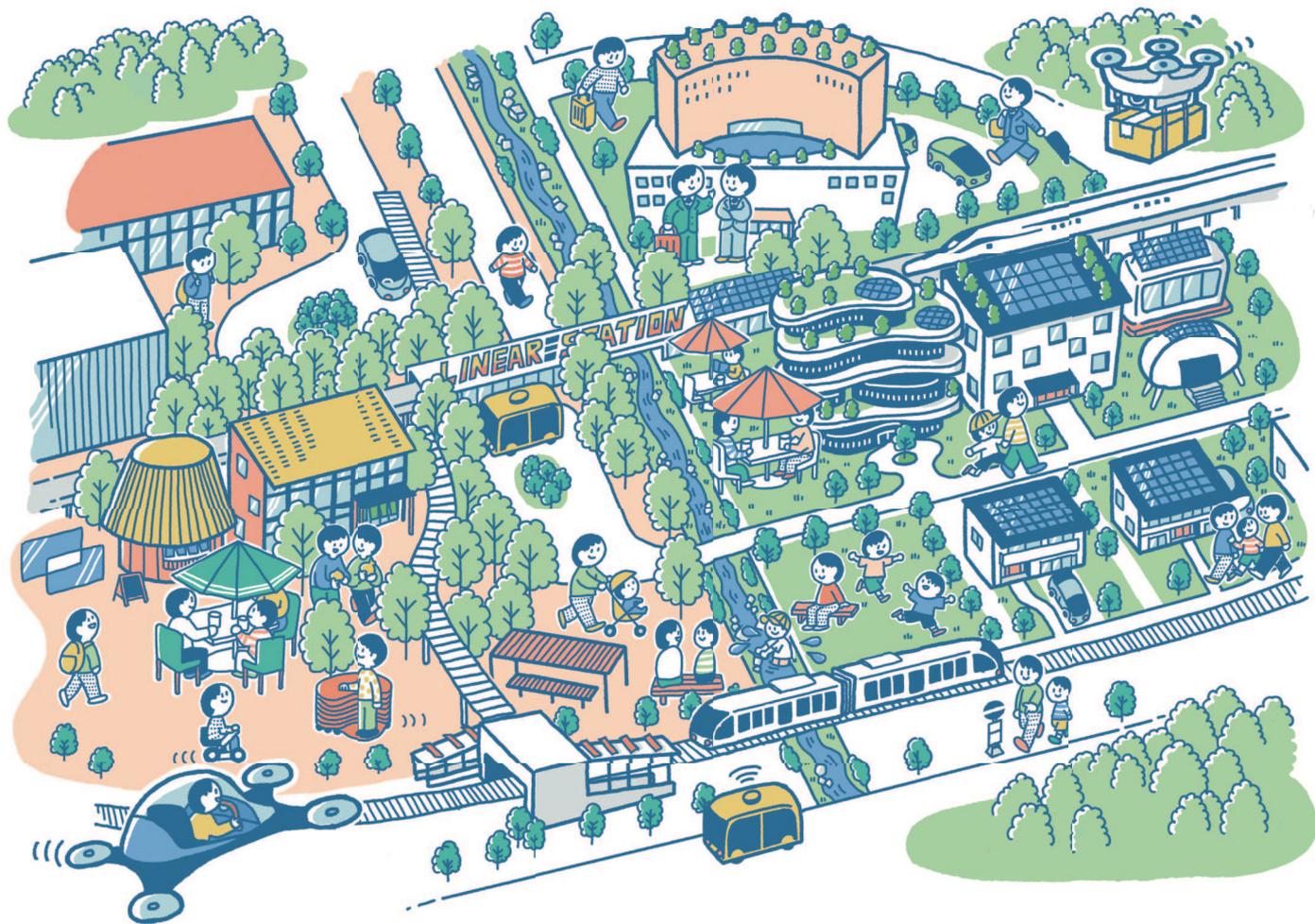
- 農林業や木工、建築などの産業・技術が受け継がれるとともに、各種産業のスマート化を実現し、持続可能な働く環境が実現します。(※6)
- 木質バイオマス発電など、この地域で生まれる資源を無駄なく活用することにより、地域内の資源を循環利用する仕組みができます。(※7)
- バイオマテリアルなどをはじめとした地域資源を活用した研究・教育機関などが集積します。(※8)
- 自然に囲まれた良好な環境に、医療・福祉関連の施設やサテライトオフィスなどが立地します。(※9)
- 木造都市(WOODs CITY)として、木造・木質化された施設や建築物がまちに広がっていくなど、資源を育て、使うまちになります。(※10)

リニア駅周辺のまちの姿

リニア駅は「岐阜県の東の玄関口」であり、都心や海外からの来訪者など、駅に降り立った人が、豊かな森や川、街道文化などの岐阜県らしさ、中津川市らしさを感じる空間を演出しながら、交通拠点として利用しやすい駅前空間を整備します。

また、先端産業の発展を支え、地元企業などと交流する場を確保するため、コンベンション機能付きホテルなどの立地を促進します。

さらに、来訪者に加え、地域の居住者が快適に生活できるような、飲食施設や商業施設、その他の必要な生活利便施設の立地や、環境に配慮したスマートな生活ができる居住地の整備を促進します。



発行

中津川市 市長公室 政策課
2026年1月

